



茎数・葉色が爆発的に上昇！直ちに中干しに入りましょう！

◎ 生育概況と技術対策

「雪若丸」の6月30日現在の生育は、指標値に比べ草丈はやや長く、茎数は多く、葉数はやや多く、葉色は濃くなっています。6月下旬の高温と浅水管理の徹底によって、茎数・葉色とも爆発的に上がっており、前回調査(6月17日)までとは生育状況が全く違ってきています。

中干しをまだ行っていない場合は、直ちに中干しを行い、無効分げつ抑制と根の活力向上を図ります。生育量が大きい場合や葉色が濃い場合は、強めに中干しを行いますが、葉色が40未満に低下しないように注意しましょう。

平坦部「雪若丸」の生育(6月30日)

項目	調査値	指標値	指標比・差	
草丈	43.6 cm	42.0 cm	104	やや長い
茎数	671 本/m ²	610 本/m ²	110	多い
葉数	9.8 枚	9.4 枚	0.4	やや多い
葉色 (SPAD)	48.9	43.1	5.8	濃い

※各農業技術普及課の調査結果を平均した値

◎ 遅れず、生育に合わせた施肥を！

6月30日の「雪若丸」の適正な葉色は40～44であり、「はえぬき」や「つや姫」より高めです。この葉色を維持することがポイントです。

穂肥の時期が遅れたり量が多いと、玄米粗タンパク質含有率が高まり、食味が低下する要因になります。穂肥は遅れずに、適量施用しましょう。**また、6月中に窒素肥料を補完施用した場合は減肥します。**

生育量	茎数(本/m ²)	葉色 (SPAD)	追肥対応※
適正	560～750	40～44	出穂25日前、窒素成分1.5kg/10a
生育不足	560未満	40未満	早めに追肥する
生育過剰	750以上	44以上	追肥量を減らす

斑点米カメムシ類の発生は「やや多い」予想！

畦畔や農道の草刈りを徹底し、生育密度低下に努めましょう！